



2-7&1-6 LAC 特別講座

3月7日(木) 3,4時間日本校で、神戸女学院大学 文学部総合文化学科教授の建石始先生による特別講座を受けました。

いつもは英語に焦点を当てたLAC特別講座ですが、今日のテーマは『やさしい日本語』で世界が広がる！』で、日本語の使い方についてペアワークをしながらの講座でした。



「やさしい日本語」って何だろう？
どうしてやさしい、をひらがなで書いているんだろう？



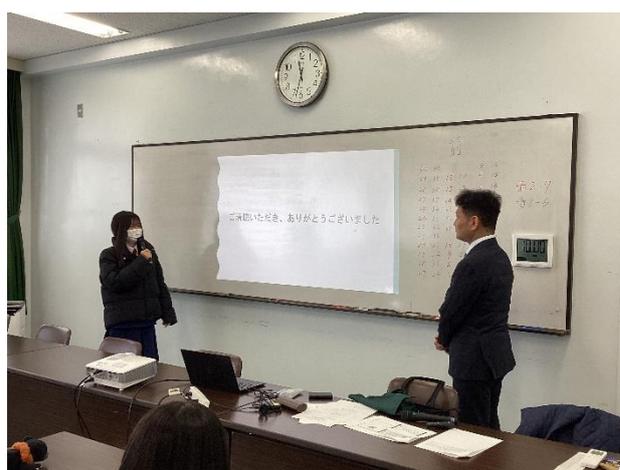
先生から「やさしい日本語」に変換する5つのポイントを教えていただいて、実際に

- ・ 阪神・淡路大震災での呼びかけ
- ・ 新型コロナウイルスに関する文章

を「やさしい日本語」にしてみました。普段は何気なく使っている日本語を、誰にでもわかるような日本語に直すのはとても難しかったですね。

また、「誰かに何かを教える人」を表す単語7つを簡単な順番に並べ替えたり、「原因・理由を表す表現」5つを簡単な順番に並べ替えたりするワークもしました。見事に正解した人もいましたが、先生によると、前者の正解率は**5%**程度、後者は**15%**程度とのことでした。正解した人、見事でした！

講義の中で先生もおっしゃっていましたが、「日本語の力をつけていくと、英語力もあがっていく」のではないかと思います。特に和文英訳をするときには、難しい日本語をいきなり英語に直すのではなく、日本語をいったん簡単な日本語に直してから、それを英語に訳するというプロセスを踏みます。だから、英語を操ることができる人は、日本語の力もなくてはならないですよ。



今日の講義は、**1、2**年生がペアで座り、意見交換をしました。「さすが先輩！」という声をきいたり、「**1**年生のがうまい！」という声をきいたり。いい交流ができていたらいいなと思います。

最後には **2-7** の和崎さんが建石先生へのお礼の言葉を伝えてくれました。英語とともに日本語の力もつけていけるように、視野を少し広げてみましょう！